



平成26年12月15日

各 位

会社名	虹 技 株 式 会 社
代表者名	代表取締役社長 堀田 一之
(コード	5603 東証第1部)
問合せ先責任者	取締役経理部長 谷岡 宗
(TEL	079-236-3221)

(訂正)「平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年12月12日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成24年2月1日付「平成24年3月期 第3四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_を付して表示しております。

以上

【訂正後】



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,720	9.8	659	△27.6	609	△24.9	366	△19.8
23年3月期第3四半期	11,586	15.7	911	71.5	810	74.1	456	83.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 365百万円 (6.5%) 23年3月期第3四半期 343百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11.09	-
23年3月期第3四半期	13.66	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第3四半期	20,332		8,533		38.6
23年3月期	20,129		8,333		38.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,841百万円 23年3月期 7,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
23年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
24年3月期	-	0.00	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	8.6	980	△28.6	850	△30.2	500	△18.7	15.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	33,619,637株	23年3月期	33,619,637株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	590,829株	23年3月期	590,374株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	33,029,042株	23年3月期3Q	33,437,579株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、回復途上にあるものの、海外経済の減速や長期化する円高により足元では回復ペースが鈍化しており、先行きの不透明さが一段と強まる状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、鋳物事業、新素材事業、機械事業、環境装置事業といった当社の各事業領域の多角的な力を統合するキーワードとして「虹技の品質」を掲げて事業活動を行い、平成22年度を初年度とする第3次3カ年計画の4つの基本方針である「品質 ナンバーワンをめざす」、「技術開発への取組みの強化」、「教育の充実」、「財務体質の更なる強化」に基づき、全社をあげて課題達成に向けた取組みを進めております。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高127億2千万円（前年同期比 9.8%増）、営業利益6億5千9百万円（前年同期比 27.6%減）、経常利益6億9百万円（前年同期比 24.9%減）、四半期純利益3億6千6百万円（前年同期比 19.8%減）となりました。

なお、上記の経常利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益（△は損失）を、△1億9千9百万円（前年同期 4千4百万円）同じく四半期純利益には、△1億1千8百万円（前年同期 2千6百万円）を含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

鋳物は、鍛造用鋳型の需要は弱含みで推移いたしましたが、特殊鋼メーカーの増産基調を受け、特殊鋼用鋳型の需要回復が継続し、売上高は前年同期を上回りました。自動車用プレス金型鋳物は、国内市場の冷え込みにより依然厳しい状況ですが、技術力向上に努め自動車メーカーからの受注活動に注力し、売上高は前年同期を上回りました。大型鋳物は、産業工作機械用鋳物のフルモールド化を図り、受注拡大に努めた結果、売上高は前年同期を大きく上回りました。ロールは、震災の影響により一時的に売上の落ち込みがありましたが、昨年7月以降持ち直し、順調に推移いたしました。小型鋳物は、新型人孔鉄蓋や次世代型高品位鉄蓋等の新商品の販売エリアの拡大や機械鋳物類の拡販に努めましたが、公共関連工事の減少が響き、前年同期を下回りました。デンスパーは、海外向けを中心に好調であった産業・工作機械業界からの需要に同業界の国内向け需要の回復も徐々に加わり、堅調に推移いたしました。

また、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司も、堅調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、106億6千万円（前年同期比 10.3%増）、経常利益7億5千万円（前年同期比 0.2%減）となりました。

② その他の事業

送風機は、依然厳しい外部環境が続いておりますが、鉄鋼関連向け物件の受注により、売上高は前年同期を上回りました。KCメタルファイバーは、主用途であるブレーキ摩擦材が、タイの洪水による自動車メーカー各社の減産の影響を受けましたが、震災と電力使用制限による減産分を挽回する増産により高い需要を継続し、売上高は前年同期を上回りました。環境装置事業は、炉修工事などの保守・メンテナンス工事の受注拡大に注力した結果、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、20億5千9百万円（前年同期比 7.0%増）、経常利益2億円（前年同期比 7.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、118億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千6百万円増加いたしました。これは、主として商品及び製品が1億6千9百万円、仕掛品が3億5千3百万円などたな卸資産が増加したことなどによります。

固定資産は、84億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ7千3百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、203億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、79億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千4百万円増加いたしました。

固定負債は38億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千2百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、117億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べほぼ横ばいとなりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、85億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億円増加いたしました。これは、剰余金の配当による減少と四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の38.2%から38.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高は東日本大震災の影響が懸念されたものの堅調に推移し、利益面では全社をあげて経費削減に取り組んでまいりましたことにより、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初の予想を上回る見込みとなりました。

なお、業績予想につきましては、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により、実際の業績が異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,904	3,359
受取手形及び売掛金	4,972	5,041
商品及び製品	<u>938</u>	<u>1,108</u>
仕掛品	<u>849</u>	<u>1,202</u>
原材料及び貯蔵品	782	877
繰延税金資産	<u>97</u>	<u>98</u>
その他	135	277
貸倒引当金	△75	△83
流動資産合計	<u>11,604</u>	<u>11,881</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,225	1,191
機械装置及び運搬具(純額)	2,168	2,022
土地	795	795
その他(純額)	921	1,137
有形固定資産合計	<u>5,111</u>	<u>5,148</u>
無形固定資産	22	19
投資その他の資産		
投資有価証券	1,015	1,134
前払年金費用	2,236	2,015
その他	161	136
貸倒引当金	△24	△2
投資その他の資産合計	<u>3,390</u>	<u>3,284</u>
固定資産合計	<u>8,525</u>	<u>8,451</u>
資産合計	<u>20,129</u>	<u>20,332</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,540	3,437
短期借入金	2,365	2,732
未払法人税等	331	101
賞与引当金	90	84
その他	1,528	1,614
流動負債合計	<u>7,857</u>	<u>7,971</u>
固定負債		
社債	210	180
長期借入金	2,828	2,931
繰延税金負債	615	453
未払役員退職慰労金	75	63
退職給付引当金	63	80
環境対策引当金	140	114
その他	5	4
固定負債合計	<u>3,939</u>	<u>3,827</u>
負債合計	<u>11,796</u>	<u>11,798</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	586	586
利益剰余金	<u>5,029</u>	<u>5,230</u>
自己株式	△67	△67
株主資本合計	<u>7,551</u>	<u>7,752</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	164
繰延ヘッジ損益	△2	△2
為替換算調整勘定	△58	△73
その他の包括利益累計額合計	<u>139</u>	<u>88</u>
新株予約権	6	6
少数株主持分	636	686
純資産合計	<u>8,333</u>	<u>8,533</u>
負債純資産合計	<u>20,129</u>	<u>20,332</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,586	12,720
売上原価	<u>9,338</u>	<u>10,636</u>
売上総利益	<u>2,248</u>	<u>2,083</u>
販売費及び一般管理費	1,337	1,424
営業利益	<u>911</u>	<u>659</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	19
保険配当金	13	20
その他	31	24
営業外収益合計	<u>63</u>	<u>63</u>
営業外費用		
支払利息	96	82
その他	67	32
営業外費用合計	<u>164</u>	<u>114</u>
経常利益	<u>810</u>	<u>609</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>810</u>	<u>609</u>
法人税、住民税及び事業税	265	294
法人税等調整額	<u>35</u>	<u>△116</u>
法人税等合計	<u>301</u>	<u>177</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>509</u>	<u>431</u>
少数株主利益	52	64
四半期純利益	<u>456</u>	<u>366</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>509</u>	<u>431</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	△36
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△103	△29
その他の包括利益合計	<u>△166</u>	<u>△65</u>
四半期包括利益	<u>343</u>	<u>365</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>341</u>	<u>315</u>
少数株主に係る四半期包括利益	1	50

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	9,661	1,924	11,586	—	11,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,661	1,924	11,586	—	11,586
セグメント利益	<u>752</u>	216	<u>968</u>	△157	<u>810</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△1億5千7百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△1億9千8百万円、営業外収益が6千3百万円、支払利息を除いた営業外費用が△6千7百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益が4千4百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	10,660	2,059	12,720	—	12,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,660	2,059	12,720	—	12,720
セグメント利益	<u>750</u>	200	<u>950</u>	△341	<u>609</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△3億4千1百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△1億7千3百万円、営業外収益が6千3百万円、支払利息を除いた営業外費用が△3千2百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益(△は損失)が△1億9千9百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

【訂正前】



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,720	9.8	762	△16.1	711	△11.9	426	△6.2
23年3月期第3四半期	11,586	15.7	908	71.0	807	73.5	455	83.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 426百万円 (24.8%) 23年3月期第3四半期 341百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12.92	-
23年3月期第3四半期	13.61	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	20,405	8,606	38.8
23年3月期	20,141	8,345	38.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,913百万円 23年3月期 7,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
24年3月期	-	0.00	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	8.6	980	△28.6	850	△30.2	500	△18.7	15.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	33,619,637株	23年3月期	33,619,637株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	590,829株	23年3月期	590,374株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	33,029,042株	23年3月期3Q	33,437,579株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、回復途上にあるものの、海外経済の減速や長期化する円高により足元では回復ペースが鈍化しており、先行きの不透明さが一段と強まる状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、鋳物事業、新素材事業、機械事業、環境装置事業といった当社の各事業領域の多角的な力を統合するキーワードとして「虹技の品質」を掲げて事業活動を行い、平成22年度を初年度とする第3次3カ年計画の4つの基本方針である「品質 ナンバーワンをめざす」、「技術開発への取組みの強化」、「教育の充実」、「財務体質の更なる強化」に基づき、全社をあげて課題達成に向けた取組みを進めております。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高127億2千万円（前年同期比 9.8%増）、営業利益7億6千2百万円（前年同期比 16.1%減）、経常利益7億1千1百万円（前年同期比 11.9%減）、四半期純利益4億2千6百万円（前年同期比 6.2%減）となりました。

なお、上記の経常利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益（△は損失）を、△1億9千7百万円（前年同期 4千4百万円）同じく四半期純利益には、△1億1千7百万円（前年同期 2千6百万円）を含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

鋳物は、鍛造用鋳型の需要は弱含みで推移いたしましたが、特殊鋼メーカーの増産基調を受け、特殊鋼用鋳型の需要回復が継続し、売上高は前年同期を上回りました。自動車用プレス金型鋳物は、国内市場の冷え込みにより依然厳しい状況ですが、技術力向上に努め自動車メーカーからの受注活動に注力し、売上高は前年同期を上回りました。大型鋳物は、産業工作機械用鋳物のフルモールド化を図り、受注拡大に努めた結果、売上高は前年同期を大きく上回りました。ロールは、震災の影響により一時的に売上の落ち込みがありましたが、昨年7月以降持ち直し、順調に推移いたしました。小型鋳物は、新型人孔鉄蓋や次世代型高品位鉄蓋等の新商品の販売エリアの拡大や機械鋳物類の拡販に努めましたが、公共関連工事の減少が響き、前年同期を下回りました。デンスパーは、海外向けを中心に好調であった産業・工作機械業界からの需要に同業界の国内向け需要の回復も徐々に加わり、堅調に推移いたしました。

また、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司も、堅調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、106億6千万円（前年同期比 10.3%増）、経常利益8億5千1百万円（前年同期比 13.6%増）となりました。

② その他の事業

送風機は、依然厳しい外部環境が続いておりますが、鉄鋼関連向け物件の受注により、売上高は前年同期を上回りました。KCメタルファイバーは、主用途であるプレーキ摩擦材が、タイの洪水による自動車メーカー各社の減産の影響を受けましたが、震災と電力使用制限による減産分を挽回する増産により高い需要を継続し、売上高は前年同期を上回りました。環境装置事業は、炉修工事などの保守・メンテナンス工事の受注拡大に注力した結果、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、20億5千9百万円（前年同期比 7.0%増）、経常利益2億円（前年同期比 7.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、119億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千7百万円増加いたしました。これは、主として商品及び製品が3億7千1百万円、仕掛品が2億5千4百万円などたな卸資産が増加したことなどによります。

固定資産は、84億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ7千3百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、204億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千3百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、79億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千4百万円増加いたしました。

固定負債は38億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千2百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、117億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べほぼ横ばいとなりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、86億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千1百万円増加いたしました。これは、剰余金の配当による減少と四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の38.2%から38.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高は東日本大震災の影響が懸念されたものの堅調に推移し、利益面では全社をあげて経費削減に取り組んでまいりましたことにより、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初の予想を上回る見込みとなりました。

なお、業績予想につきましては、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により、実際の業績が異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,904	3,359
受取手形及び売掛金	4,972	5,041
商品及び製品	<u>944</u>	<u>1,315</u>
仕掛品	<u>863</u>	<u>1,117</u>
原材料及び貯蔵品	782	877
繰延税金資産	<u>89</u>	<u>48</u>
その他	135	277
貸倒引当金	△75	△83
流動資産合計	<u>11,616</u>	<u>11,953</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,225	1,191
機械装置及び運搬具(純額)	2,168	2,022
土地	795	795
その他(純額)	921	1,137
有形固定資産合計	<u>5,111</u>	<u>5,148</u>
無形固定資産	22	19
投資その他の資産		
投資有価証券	1,015	1,134
前払年金費用	2,236	2,015
その他	161	136
貸倒引当金	△24	△2
投資その他の資産合計	<u>3,390</u>	<u>3,284</u>
固定資産合計	<u>8,525</u>	<u>8,451</u>
資産合計	<u>20,141</u>	<u>20,405</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,540	3,437
短期借入金	2,365	2,732
未払法人税等	331	101
賞与引当金	90	84
その他	1,528	1,614
流動負債合計	<u>7,857</u>	<u>7,971</u>
固定負債		
社債	210	180
長期借入金	2,828	2,931
繰延税金負債	615	453
未払役員退職慰労金	75	63
退職給付引当金	63	80
環境対策引当金	140	114
その他	5	4
固定負債合計	<u>3,939</u>	<u>3,827</u>
負債合計	<u>11,796</u>	<u>11,798</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	586	586
利益剰余金	<u>5,041</u>	<u>5,302</u>
自己株式	△67	△67
株主資本合計	<u>7,563</u>	<u>7,824</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	164
繰延ヘッジ損益	△2	△2
為替換算調整勘定	△58	△73
その他の包括利益累計額合計	<u>139</u>	<u>88</u>
新株予約権	6	6
少数株主持分	636	686
純資産合計	<u>8,345</u>	<u>8,606</u>
負債純資産合計	<u>20,141</u>	<u>20,405</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,586	12,720
売上原価	<u>9,340</u>	<u>10,533</u>
売上総利益	<u>2,245</u>	<u>2,186</u>
販売費及び一般管理費	1,337	1,424
営業利益	<u>908</u>	<u>762</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	19
保険配当金	13	20
その他	31	24
営業外収益合計	<u>63</u>	<u>63</u>
営業外費用		
支払利息	96	82
その他	67	32
営業外費用合計	<u>164</u>	<u>114</u>
経常利益	<u>807</u>	<u>711</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>807</u>	<u>711</u>
法人税、住民税及び事業税	265	294
法人税等調整額	<u>34</u>	<u>△74</u>
法人税等合計	<u>300</u>	<u>220</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>507</u>	<u>491</u>
少数株主利益	52	64
四半期純利益	<u>455</u>	<u>426</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>507</u>	<u>491</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	△36
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△103	△29
その他の包括利益合計	<u>△166</u>	<u>△65</u>
四半期包括利益	<u>341</u>	<u>426</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>339</u>	<u>376</u>
少数株主に係る四半期包括利益	1	50

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	9,661	1,924	11,586	—	11,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,661	1,924	11,586	—	11,586
セグメント利益	<u>749</u>	216	<u>965</u>	△157	<u>807</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△1億5千7百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△1億9千8百万円、営業外収益が6千3百万円、支払利息を除いた営業外費用が△6千7百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益が4千4百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	10,660	2,059	12,720	—	12,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,660	2,059	12,720	—	12,720
セグメント利益	<u>851</u>	200	<u>1,051</u>	△339	<u>711</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△3億3千9百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△1億7千3百万円、営業外収益が6千3百万円、支払利息を除いた営業外費用が△3千2百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益(△は損失)が△1億9千7百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。